

# エコプロダクツ② グリーン調達

## グリーン調達の推進

日立化成グループは、2001年度に策定した「グリーン調達ガイドライン」に基づき、お取引先各社の協力を得ながら環境への影響が少ない製品、部品、原材料を優先的に購入しています。

グリーン調達ガイドラインはホームページに掲載しています。

URL <http://www.hitachi-chem.co.jp/japanese/purchase/green.html>

## お取引先と連携した環境負荷低減

日立化成グループは、「グリーン調達ガイドライン」に基づき、原料の含有化学物質の調査や、環境マネジメントシステムを構築しているお取引先からの購入比率拡大、エコマーク付き商品の購入などを進めています。

日立化成はお取引先のご協力を得て

2005年末までに、調達品5,241件について、EU(欧州連合)のRoHS指令対象6物質の不含有を確認しました。日立グループでは、この6物質を含め計25の禁止・管理物質を定め、お取引先に適正管理と含有情報の提供をお願いしています。

また、2005年度、日立化成のISO14001、JISQ14001、またはKES※1などそれらに準じた環境マネジメントシステムを構築しているお取引先からの購入比率(グリーンサプライヤー率※2)は70%となり、前年度比9%向上しました。日立グループは、2006年度の100%達成を目標としており、日立化成では、認証取得に関するご相談の受付や認証要求事項満足度のチェックシートの活用などによって、お取引先の環境マネジメントシステム構築を支援しています。

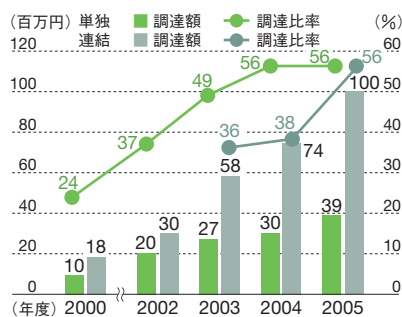
事務用品については、「エコマーク」「グ

リーン購入法」などに適合している製品を購入するグリーン調達を実施しており、2005年度のグリーン調達比率は、単独・連結ともに56%でした。また、電子発注購買システム「e-sourcing」を活用し、全社の購買を一元管理することで、グリーン調達の効率化も進めています。

※1 KES:「京(みやこ)のアジェンダ21」に基づく環境マネジメントシステム

※2 グリーンサプライヤー率:環境マネジメントシステムを構築したサプライヤー数(構築中を含む)÷主要サプライヤー数

## 事務用品のグリーン調達額と調達比率推移



## Voices

### お取引先の環境マネジメントシステム構築を積極的に支援しています。



資材部  
入江 幸博

当社は、グリーン調達推進に向けた具体策を策定し、社内外に展開する活動組織として「グリーン調達会議」を設置しています。この会議は、製造4事業所および本社資材部門の担当者で構成されますが、会議の主要メンバーを製造事業所とすることで、地に足の着いた活動を行うよう心がけています。

この会議で決定したことの一つに、お取引先の環境マネジメントシステム

(EMS)構築支援活動があります。EMSの代表的なものはISO14001ですが、環境保全思想の広がりとともに、KES、エコステージ、エコアクション21がISO14001に準ずるEMSとして制定されています。当社グループでは、これらのうちKESをベースとした「HI-KES※」の制度を定め推奨しています。当社では、各事業所の資材担当者が個別にお取引先にご案内しているほか、お取引先ミーティングでもご紹介しています。

また、認証要求事項満足度のチェックシートを作成し、EMSの取得を目指すお取引先の自己評価にご活用いただくとともに、当社の認定制度として運用することで、EMSの裾野を広げる活動も始めました。

こうした活動が実を結び、2005年度、グリーンサプライヤー率は70%となり

ました。また、2005年度に「HI-KES」の認証を新規に取得されたお取引先から、環境マネジメントシステム構築への支援について、お取引先の環境報告書にご掲載いただくなどの事例もありました。

※ HI-KES(ハイ・ケーイーエス):日立グループが、ISOの認証を取得していないお取引先の環境保全活動を支援する制度。KESの認証を取得後、(株)日立製作所の環境セミナーを受講したお取引先に、各種機会を通じ環境保全活動の情報を共有する場を提供している

## 日立化成のグリーンサプライヤー率推移

